

12-B. ヨコバイ目・腹吻亜目

(1) ヨコバイ目・腹吻亜目の生息状況

栃木県内からは、香川・樋口（2003）により 11 科 435 種の腹吻亜目が記録されている。

本調査では、文献調査のみを実施し、5 科 13 種が確認された（表Ⅶ-12-B-(1)-1）。この結果、西那須野・塩原地区からは栃木県産腹吻亜目のうち、約 3%の生息が記録されたことになる。かなり低い数値であり、極めて不十分な結果となった。

近隣地区の状況を勘案すると、追加記録される可能性が高い種類が相当数ある。今後の綿密な調査により非常に多くの種が追加されよう。

【表Ⅶ-12-B-(1)-1 ヨコバイ目・腹吻亜目の科別種数一覧】

科名※	本調査地の生息種	調査確認	(文献記録のみ)
コナジラミ科	1		(1)
カタカイガラムシ科	2		(2)
フサカイガラムシ科	1		(1)
マルカイガラムシ科	2		(2)
アブラムシ科	7		(7)
計 5 科	13 種		(13) 種

※科の分類と配列は香川・樋口（2003）に準じた。

コナジラミ科は国内に 27 属 65 種が知られるが、北海道には 2 種しか知られておらず、大多数の種は本州以南に分布するという。木本に依存する種が大半で、草本につく種類は少ない。ミカンを始めとした柑橘類の害虫である。

カタカイガラムシ科は国内に 18 属 60 種が知られ、極めて多様な形態と生態を持った種が知られている。カメノコロウムシなどロウムシ属の種は、糊状や粘土状の蠟物質で背面が厚く被われる。多くの植木や果樹の害虫である。

フサカイガラムシ科は国内に 4 属 15 種が知られ、虫体はセルロイドに似た薄く硬い半透明の殻で被われている。

マルカイガラムシ科は国内に 62 属 220 種が知られるカイガラムシ類の中では最大の科である。

最も進化し特殊化の進んだグループとされ、小型で脱皮殻と分泌物で鱗片状やカサブタ状の虫体被覆物、つまり「介殻」を形成し、寄主植物に固着して生活するという。

アブラムシ科は国内に 199 属 669 種が知られる非常に大きな科。種によって寄生する植物がほぼ限定されているが、本科の種類数が多いため非常に多くの植物に吸汁害を与え、さらに植物ウイルスの媒介昆虫としても重要である。

以上のように、本亜目に属する種類は、重要な害虫を多数含んでいる。適切な駆除や防除のためにも、早急に生息種の把握が望まれる。

(2) 保全すべき種

保全すべき種に該当する確認種はなかった。

(3) 注目すべき種

注目すべき種に該当する確認種はなかった。

(文責：渡辺 剛)

【目録】

※科の分類、科・種の配列、和名・学名に関しては、香川・樋口（2003）に準じた。

※生息確認種と生息エリアは、文献記録から引用した。

科名	和名	学名	A 地域	B 地域	C 地域	山岳 地域	
ヨコバイ目・腹吻亜目							
コナジラミ科	オンシツコナジラミ	<i>Trialeurodes vaporariorum</i> (Westwood)		<input type="checkbox"/>	*1		
カタカイガラムシ科	カメノコロウムシ	<i>Ceroplastes japonicus</i> Green		<input type="checkbox"/>	*1		
	ツバキワタカイガラムシ	<i>Pulvinaria floccifera</i> (Westwood)		<input type="checkbox"/>	*1		
フサカイガラムシ科	ナラフサカイガラムシ	<i>Asterolecanium japonicum</i> Cockerell		<input type="checkbox"/>	*1		
マルカイガラムシ科	チャクロホシカイガラムシ	<i>Parlatoria theae</i> Cockerell		<input type="checkbox"/>	*1		
	ウメシロカイガラムシ	<i>Pseudaulacaspis prunicola</i> (Maskell)		<input type="checkbox"/>	*1		
アブラムシ科	コマツナギアブラムシ	<i>Aphis indigoferae</i> Shinji			<input type="checkbox"/>	*1	
	キョウチクトウアブラムシ	<i>Aphis nerii</i> Boyer de Fonscolombe				<input type="checkbox"/>	
	テンニンソウヒゲナガアブラムシ	<i>Aulacorthum phytolaccae</i> Miyazaki		<input type="checkbox"/>			*1
	キツリフネコブアブラムシ	<i>Eumyzus gallicola</i> Takahashi					<input type="checkbox"/>
	ホウセンカコブアブラムシ	<i>Eumyzus impatiensae</i> (Shinji)					<input type="checkbox"/>
	ヤマビワケダアブラムシ	<i>Mollitrichosiphum</i> (<i>Metatrichosiphum</i>) <i>yamabiwae</i> Suenaga					<input type="checkbox"/>
	イガフシマンサクアブラムシ	<i>Hamamelistes miyabei</i> (Matsumura)					<input type="checkbox"/>

【参考文献・引用文献】

※目録に引用した文献は、末尾に*を付している。

平嶋義宏・森本桂監修，2008. 新訂 原色昆虫大圖鑑 第Ⅲ巻（トンボ目・カワゲラ目・バッタ目・カメムシ目・ハエ目・ハチ目 他）. 北隆館，654pp.

香川清彦・樋口弘道，2003. 腹吻亜目 Stenorrhyncha. 栃木県自然環境基礎調査 とちぎの昆虫Ⅰ. 栃木県林務部自然環境課，pp. 162-191. *1

環境省，2007. 昆虫類レッドリスト. 絶滅危惧種情報，環境省ホームページ.

河合省三，1996. カイガラムシ型類. 日本動物大百科 第8巻 昆虫Ⅰ. 平凡社，pp. 155-157.

宮武頼夫，1996. コナジラミ型類. 日本動物大百科 第8巻 昆虫Ⅰ. 平凡社，pp. 155.

宮崎昌久，1996. アブラムシ型類. 日本動物大百科 第8巻 昆虫Ⅰ. 平凡社，pp. 154-155.

栃木県林務部自然環境課・栃木県立博物館編，2005. レッドデータブックとちぎ. 栃木県. 898pp.